

# ごあいさつ

---



独立行政法人 福祉医療機構  
理事長 **中村 裕一**

独立行政法人福祉医療機構は、福祉の増進と医療の普及および向上を目的として2003年10月に設立された独立行政法人です。

福祉医療機構は、経営理念として「民間活動応援宣言」を掲げ、お客さまサービス向上のため、お客さま目線と健全性を確保しつつ、国の政策と密接な連携のもと、その政策目的を早期に実現すべく、地域の福祉と医療の基盤づくりを支援しております。

少子高齢化、人口減少が進む中、社会構造変化への対応が強く要請される福祉・医療分野におきまして、福祉施設や医療施設に対する政策融資をはじめ、これら施設の経営支援、福祉施設で働く方の退職手当共済、心身に障害のある方の年金を充実させる扶養保険、NPO等民間団体への助成、年金を受け取られている方への融資、WAM NETによる福祉保健医療情報の提供、旧優生保護法に係る一時金支払、ハンセン病元患者家族の方への補償金支払など、福祉と医療に関する多様な事業を一体的・有機的に実施することにより、地域の福祉と医療の基盤づくりに貢献してまいります。また、地震や大雨等の災害発生時には、各事業連携のもと、被災されたお客さまの復興支援を迅速に行ってまいります。

こうした取組みの中で、お客さまからお寄せいただいたご意見・ご要望について福祉医療機構として真摯に受け止め、お客さま満足の向上に努めてまいります。

これから先も、国民の皆さまにとって身近で信頼され、より役立つ組織となるよう、役職員一人ひとりが環境の変化を鋭敏に捉え、国の政策の一翼を担うという使命のもと、「小回りのきく福祉・医療支援の専門店」として、組織一丸となって社会保障を支える福祉医療基盤の進化・発展と安定のために業務運営に取り組む所存であります。

引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年4月1日